

もり まち
森林を活かす都市の木造化推進議員連盟
現地視察報告

1. 視察日：令和7年3月10日（月）

2. 視察先：



奥村組社員寮（埼玉県川口市）



AQグループ本社屋（埼玉県さいたま市）

3. 出席議員

視察団団長(会長)
幹事長

金子 恭之	衆議院議員
宮下 一郎	衆議院議員
黄川田仁志	衆議院議員
小森 卓郎	衆議院議員
朝日健太郎	参議院議員
末松 信介	参議院議員

4. 概要説明及び質疑応答

【(株) 奥村組から概要説明】

- ・ 延べ床 1,809 m²の地上8階建て、1階から2階がRC造、3階から8階が木造とRCの混構造。エレベーターホール周辺は全てRC造。
- ・ 木材使用量は246 m³。ほとんど国産材。木質耐火部材を柱・梁に採用。耐震壁にCLTを採用。構造部分には耐火規制がかかるので、表面を被覆せざるを得ないが、耐震壁にはかからないので、耐震壁で「現し」を実現。
- ・ 外壁にも、試行的に木製ルーバーを設置。経年劣化が見込まれるので、メンテナンスや取り替えをしやすいように工夫。

【主な質疑応答】

- ・ 木材は雨風に弱いため外では使いにくいですが、ここでは外装にも木を使っている。どういう技術でできたのか。

(回答) ルーバーや軒天などは、防腐防蟻処理をして、その上に耐候性の色が落ちない塗料を塗っている。7年毎に塗り替えが必要だが、できるだけ中からメンテナンスして費用を抑えていく。

- ・ RCで建てた場合との費用差はどのくらいか。

(回答) RC造で設計した訳ではなく、また、今回は、アピールするため、あえて高額なものを使った資材もあり、単純な比較は難しいが、1.5倍程度。

- ・ 国産材をスムーズに使えるようにするための改善点などはあるか。

(回答) シェルターの協力もあって、流通ルートがはっきりわかる仕組みができてきている。地域産材を指定すると、その地域の材が足りないとか、強度が足りないということがある。今回は産地の指定は表面の飯能の西川材のみで、構造材は産地を指定していないので、その辺りの懸念は少なかった。



金子会長挨拶



(株)奥村組からの概要説明



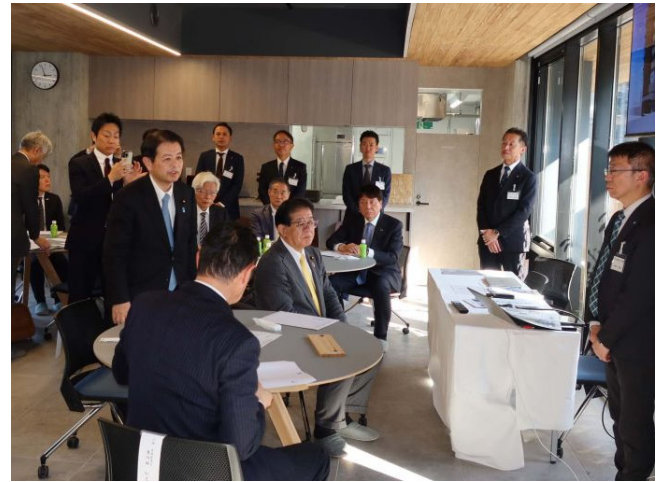
視察中 (7階部分の寮室)



視察中 (7階部分の寮室)



視察中（免震装置）



宮下幹事長挨拶

【(株) A Qグループから概要説明】

- ・ 延床 6,077 m²の地上 8 階建て、純木造。
- ・ 木材使用量は 1,695 m³。国産材率 36.6%。木造軸組構法による耐震構造。
- ・ 木構造は「大ラーメン」と「小ラーメン」。大ラーメンは構造力を受ける部材で耐火被覆。大ラーメンにより、1 階のホールでは、12m×28mの無柱空間を実現。小ラーメンは耐震部材で耐火規制を受けないため「現し」。
- ・ 今回、特に開発に力を入れたのは「格子耐力壁」。90mm 角の部材を斜め方向に直交するように格子状に配置することで、高い壁倍率を実現。構造用合板による耐震壁と同等の耐震性能を発揮。格子状で光を通すため、室内を明るくすることも可能。
- ・ 住宅用プレカット工場で製材・加工された木材を使用するとともに、特殊な金物を極量使用しないことで建築費を抑え、坪単価は 145 万円。鉄筋鉄骨コンクリート造（坪 178 万円）の約 3/4。

【主な質疑応答】

- ・ 省エネや断熱性能、空調はどうしているか。

（回答）断熱性能は、「Nearly ZEB」に適合。冷暖房は、屋上の太陽光発電も活用し、電気で各階毎にコントロール。

- ・ 外観・壁に木材を使っていくのが課題だと思いが、いかがか。

（回答）今回は普及価格での建築にこだわったため、外装には金属製のパネルを使った。できるだけ外装にも木材を使っていきたい。

- ・ 全国の工務店でもできるような木造を進めるべき。どのように全国の工務店に広げていくのか。

（回答）木造技術を自社のものだけにせず、広く地域の工務店・ゼネコンの皆さんに普及していきたいと考えて、加盟組織を作っている。非常

に多くの反響がある。

- ・ 木材を使うことで、健康などにどのような影響があるか。
(回答) 分析できていないが、データをとって科学的に進めていきたい。
- ・ 国産材の活用に当たって、改善点はあるか。
(回答) 今回はウッドショックがあったので国産材率は37%だが、仮に最大限使えば50%程度。ただ、量と品質の確保は課題。



金子会長挨拶



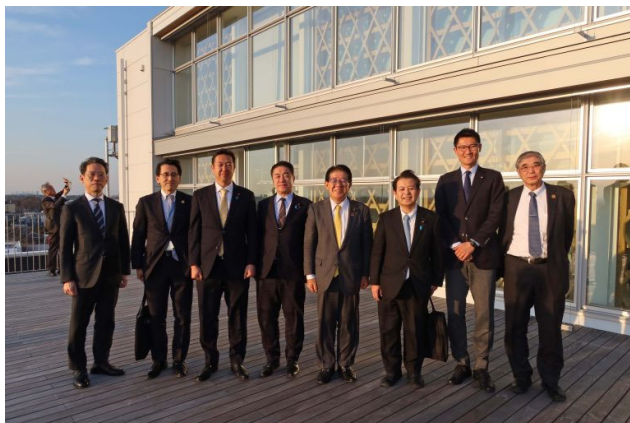
(株)AQグループからの概要説明



視察中(1階エントランス)



視察中(1階ホール)



視察中(7階バルコニー)



宮下幹事長挨拶